

地域音楽コーディネーター養成講座【オンライン9月】

当日スケジュール(当日の進行状況により変更になる場合がございます)

2021年9月26日(日)

時 間	科 目 ・ 講 師 名
09:30 ～ 10:00	受付：Zoomのアカウント名は、必ず「 申込者名 」にしてご参加ください。出席確認します。 変更方法は、 https://applimura.com/zoom-name-change/ をご参照ください。
10:00 ～ 10:10	オリエンテーション
10:10 ～ 11:10	①生涯学習と音楽 人とのつながりの中で音楽を学ぶことの意味とその支援について 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：なし
講師	志々田 まなみ（文部科学省国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部総括研究官、公益財団法人音楽文化創造 理事）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
11:20 ～ 12:20	②文化と地域創生 地域の文化を考える 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	広中 省子（久手市文化の家 事業アドバイザー）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
12:20 ～ 13:30	昼食休憩
13:30 ～ 14:30	③地域文化マネジメント 文化行政のこれから～ブレインングプロデューサーの必要性～ 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：なし
講師	西尾 征樹（一般社団法人コミュニティエデュ代表理事、大阪府公民館・関連施設連絡会事務局長、大阪樟蔭女子大学等非常勤講師、元市町村担当課長）
出席確認方法	ビデオ設定をオンにしてご参加ください。画面上で出席確認します。
14:40 ～ 16:40	④音楽企画書の書き方 ターゲットを明確にして、キャッチフレーズを考えれば、企画は自ずと出来上がる！ 事前動画：なし 課題：なし レジユメ：あり 講義資料：あり
講師	大谷 邦郎（グッドニュース情報発信塾 塾長）
受講の流れ	講義の間に受講者をグループに分け、Zoomの「ブレイクアウトルーム」を利用した、グループワークを実施します。
16:40 ～ 16:50	まとめ

講師プロフィール

志々田 まなみ

文部科学省国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部総括研究官、公益財団法人音楽文化創造 理事

愛知県豊橋市生まれ。教育学（社会教育・生涯学習）が専門。特技：広島弁

研究のテーマは、学校・家庭・地域の連携・協働。広島経済 大学教授を経て、2017 年から文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官。

広中 省子

長久手市文化の家 事業アドバイザー

1957年愛知県生まれ。34年前3人の子どもを育てる中で、「地域に子育てと文化でつながる仲間を広げ、舞台芸術を通して子どもも大人も人間性豊かに育ち合う」ことを目的とする「おやこ劇場」に出会う。以来、地域の文化活動に深くかかわることに。日進おやこ劇場運営委員長（1996年～2007年）子ども・おやこ劇場東海連絡会運営委員長（2008年～2016年）、子どもと文化全国フォーラム理事（2013年～）、長久手市文化の家館長（2018年～2021年3月）今年4月より現職。

西尾 征樹

一般社団法人コミュニティエデュ（社会教育・生涯学習、人材育成、地域活動を行う団体）代表理事

大阪府公民館・関連施設連絡会事務局長、大阪樟蔭女子大学等非常勤講師、元市町村担当課長

大阪府へ出向し、文化行政・事業を経験、岸和田市へ戻り国際文化施設の立ち上げをする。

また、事業においては事業総括として、市民参加型事業である「浪切吹奏楽フェスタ」を実施、中学校や高等学校の関わりを密接にしながら、各学校の吹奏楽部の底上げを行う。

市民参加型としては珍しい事業の黒字化を実践した。その他、手掛けた事業は「浪切お笑いセミナー」、「オーケストラと複数の地域合唱団、有名アーティストとのコラボレーション」、「市民参加の能狂言ワークショップとプロとの共演」など、これらにより、地域活性化を行い現在に至る。

大谷 邦郎

グッドニュース情報発信塾 塾長

1984年、（株）毎日放送入社。40歳代半ばまでは大半を「記者」として過ごし、テレビでは経済番組のプロデューサーとして活躍。また、ラジオ時代には放送業界では最高峰の賞「ギャラクシー賞大賞」や「民間放送連盟賞最優秀賞」などを受賞。その後、「ラジオ報道部長」、「宣伝部長」などを歴任。取材する側、される側をともに経験したことにより、情報発信に関する独自のノウハウを蓄積。2016年に毎日放送を早期退職し、「グッドニュース情報発信塾」を立ち上げ現在に至る。情報発信の各種セミナーの講師やコンサルタントとして活躍中。また、講談作家の肩書きや、追手門学院大学「笑学」研究所・客員研究員の肩書きも持つ。